

夏号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】…参加費無料、先着順

日時：令和元年8月25日(日)10:00~12:00
場所：とんがりふれあい館ホール
定員：20名
内容：季節の花の寄せ植え

日時：令和元年9月1日(日)10:00~12:00
場所：郡山石筵ふれあい牧場（熱海町）
定員：20名
内容：牧場内の樹木観察会と鳥笛づくり



【みどり講習会】…樹木医と学ぶ樹木の育て方講座

場所：とんがりふれあい館ホール
対象：記念樹交付申請者及び希望者

- ①日時：令和元年9月22日(日)10:00~12:00
内容：樹木の植え方、水やり
- ②日時：令和元年10月27日(日)10:00~12:00
内容：落葉樹の剪定
- ③日時：令和元年11月17日(日)10:00~12:00
内容：土壌改良、肥料

*受講料無料ですので、お気軽にお越しください。

My ガーデニング

～ 季節のワンポイントアドバイス ～



【水やり】

今年の夏はどのような天候になるか大変気になる所です。定期的に雨ががあると助かります。そして、極端な高温でないことを願うばかりです。特に、植え替えて間もない物は、今年の夏を乗り切る事がその後の成長を左右します。梅雨明け後の急激な高温乾燥は、それまで日照不足のなかで育っていた植物にとって大きな試練です。その時大事になるのが「水やり」です。これからの時期は高温になる日中の時間帯を避け、できれば朝にあげるようにします。ただし、酷く乾燥する時には夕方にもあげます。その時の水の量は、根まで届かなければなりません。水鉢を作るなどしてどっぷりとあげます。水やりは樹冠全体にかけると蒸散も抑えられ葉の汚れなども洗い流せます。雑草などを抑える効果も兼ねて腐葉土などで土壌表面を被う(マルチング)をすると水やりも楽になります。

【植替え】

これからの時期は植替えには不向きです。ただし、9月下旬になると常緑樹の植替えは可能です。気温が落ち着いてくる秋の彼岸頃まで待ちます。その頃になると年内に新しい根が多く伸びだし、弱らず冬を乗り切る事ができます。落葉樹は落葉後まで待ちます。

【肥料】

夏の暑い時期に多くの場合は樹木へ肥料は与えませんが、与える事により、根を傷めたりして逆効果になるので、9月下旬頃まで待ちます。

草花類は液体肥料を定期的にあげるようにします。

【病害虫】

多くの樹種で病害虫が発生し、その防除に手を焼く季節です。病気は予防、害虫は早期の防除が大切です。その病害虫は毎年定期的に発生しますので、おさえておくことが大切です。

『うどんこ病』



これからの季節、雨が少なく乾燥が続くと特に発生します。ハナミズキ、カエデ類、サルスベリ、バラなど多くの樹種に発生します。葉にうどん粉をまぶした様な白いカビで覆われます。薬剤散布で抑える事は出来ませんが、発病した病徴は落葉するまで残ったままです。美観が損なわれ生育も阻害されます。予防は窒素肥料を与え過ぎず、健全に育て、風通しをよくして管理します。

発生時期は毎年同時期なので、その前から定期的に薬剤散布をします。薬剤は葉の表裏まんべんなく散布し、発病した葉などは掃き集めて処分します。

『ごま色斑点病』



生垣で使用されるセイヨウベニカナメモチに多く発生します。被害が進むと落葉し樹勢も衰えます。次から次と蔓延し、最後には枯れてしまう事もあります。発病した葉などは処分します。また、薬剤散布で蔓延を防ぐことが現状では難しいです。以前カナメモチは、この病気の蔓延により栽培されなくなりました。新たな樹種に切り替える事も一考です。

【剪定】

常緑広葉樹もこれからは**弱めの剪定**となります。ふところの枝や徒長枝を切る程度にします。切り過ぎると夏の強い陽射しで焼けてしまいます。マツ類の剪定も芽を摘む程度にします。以前は月遅れお盆にあわせて、昨年の葉をむしり取り、枝数も少なくする剪定が主流でしたが、近頃の天候などの環境変化により、弱ってしまうマツを多く見かけます。冬までは多く葉を繁らせておくことが樹勢を弱めないポイントとされます。落葉樹は徒長枝を切る程度にします。



上の写真は京都御所のアカマツです。今年2月末の姿です。一般的に乾燥に強いはずのマツ葉が変色しており、昨夏の高湿乾燥による障害も考えられます。郡山市内でも、この様な症状のマツを近年多く見かけるようになりました。

【違いを知っていますか？】

6月中旬から白い清楚な花を咲かせるヒメシャラとナツツバキ。どちらもこの公園内に植栽しています。ヒメシャラは関東西部から西に、ナツツバキは郡山市近郊の山も含め東南北部から西に自生しています。ヒメシャラはナツツバキと比べて葉、花、実は小さく樹皮の色も違います。この写真はナツツバキです。

